



## アクセスコードの管理

WiFi Engage により、アクセスコードを使用してビジネス構内のインターネットプロビジョニングを制御できます。さまざまな Meraki ネットワーク(ロケーション)用のアクセスコードを作成し、そのアクセスコードを使用してこれらのロケーションのインターネットアクセスを制限できます。つまり、顧客は、そのロケーション用に設定されたアクセスコードを入力した後でのみインターネットにアクセスできます。この章では、WiFi Engage を使用して、アクセスコードを作成および制御する方法について説明します。

WiFi Engage により、作成したアクセスコードを顧客と共有することができます。アクセスコードの有効期間を指定できます。アクセスコードに単一のコード値を持たせる、またはコード値を毎週や毎月変更するように設定できます。アクセスコードに手動でコード値を指定するか、または自動生成することができます。アクセスコードを使用して、顧客がインターネットにアクセスできる時間を定義できます。WiFi Engage により、特定のアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに、アップロードおよびダウンロードの制限を含む、帯域幅の制限を設定することもできます。

1つのネットワーク(ロケーション)に複数のアクセスコードを定義できます。たとえば、プラチナメンバーにのみ、高速インターネットを提供する場合、最大帯域幅を持つアクセスコードを作成し、限られた帯域幅を持つアクセスコードを別に作成できます。その後、顧客のタイプに基づいてアクセスコードを共有できます。



(注) 管理者またはアクセスコードマネージャの権限を持つ WiFi Engage ユーザのみ、アクセスコードを作成または管理できます。



(注) WiFi Engage 管理ユーザのみ、アクセスコードマネージャとしてユーザを招待できます。アクセスコードオプションは、管理者またはアクセスコードマネージャアカウントのみ、WiFi Engage ダッシュボードで使用できます。

- [アクセスコードの作成\(9-2 ページ\)](#)
- [アクセスコードの表示\(9-4 ページ\)](#)
- [アクセスコードの共有\(9-5 ページ\)](#)
- [アクセスコードの削除\(9-5 ページ\)](#)
- [アクセスコードの非アクティブ化\(9-6 ページ\)](#)
- [アクセスコードの再アクティブ化\(9-6 ページ\)](#)

# アクセスコードの作成

アクセスコードを作成するには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** WiFi Engage ダッシュボードで、[Access Code]を選択します。

[Access Code] ページが表示されます。



(注)

[Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

**ステップ 2** ドロップダウンリストから、アクセスコードを定義する Meraki ネットワークを選択します。

**ステップ 3** [Add Access Code]をクリックします。

**ステップ 4** [Add Access Code] ページで、作成するアクセスコードのタイプを選択します。

- **Fixed:** コード値はアクセスコードが有効の間は同じです。
- **Weekly:** アクセスコードのコード値は毎週変更されます。
- **Monthly:** アクセスコードのコード値は毎月変更されます。

表示される残りのフィールドは、選択したアクセスコードタイプによって異なります。

アクセスコードタイプに [Fixed]を選択したら、次の詳細を入力します。

- a. テキストフィールドにアクセスコードの名前を入力します。
- b. アクセスコードに独自コード値を定義するには、[Set your own access code?] チェックボックスをオンにします。
- c. 表示される [Access Code] フィールドに、コード値を入力します。
- d. [Limit session by time]バーを調整して、アクセスコードを使用して顧客がインターネットにアクセスできる時間を指定します。この時間は単一セッション用です。
- e. アクセスコードの有効期間を定義するには、[Define a validity period for this access code] チェックボックスをオンにします。それぞれのボタンをクリックして、開始日と終了日を指定します。
- f. 顧客がこのアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに帯域幅を制限する場合、[Limit bandwidth] チェックボックスをオンにします。
- g. [Bandwidth Limit] バーを調整して、このアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに、顧客に提供する必要がある最大帯域幅を指定します。
- h. [See more] リンクをクリックして、アップロードおよびダウンロードの制限を指定します。

アクセスコードタイプに [Weekly]を選択したら、次の詳細を入力します。

- a. テキストフィールドにアクセスコードの名前を入力します。
- b. アクセスコードを生成する方法を指定します。
  - すべての週に独自のコード値を指定する場合、[Upload access codes from the csv file] チェックボックスをオンにします。メッセージボックスのリンクをクリックするとアクセスコードのテンプレートをダウンロードできます。テンプレートで必要なすべての週にすべてのコード値を入力した後、[Upload] ボタンを使用してテンプレートを CSV ファイルとしてアップロードできます。
  - すべての週のアクセスコードを自動的に生成するには、[Access Code Validity time period] バーを調整して、このアクセスコードが有効な期間を週単位で指定します。



(注)

[Access Code Validity time period] バーは [Upload access codes from the csv file] チェックボックスを選ばなかったときにのみ使用できます。[Upload access codes from csv File] チェックボックスを選択した場合、有効期間は CSV ファイルに入力したコード値の数に基づいて判断されます。たとえば、CSV ファイルに3つのコード値を定義した場合、アクセスコードは3週間有効です。CSV ファイルに指定されたコード値は、それぞれの週に順次対応していると見なされます。

- c. [Limit session by time]バーを調整して、アクセスコードを使用して顧客がインターネットにアクセスできる時間を指定します。この時間は単一セッション用です。
- d. [Start Date] ボタンをクリックして、アクセスコードが有効になる開始日を指定します。
- e. 顧客がこのアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに帯域幅を制限する場合、[Limit bandwidth] チェックボックスをオンにします。
- f. 表示される帯域幅バーを調整して、このアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに、顧客に提供する必要がある最大帯域幅を指定します。
- g. [See More] リンクをクリックして、アップロードおよびダウンロードの制限を指定します。アクセスコードタイプに [Monthly]を選択したら、次の詳細を入力します。
  - a. テキストフィールドにアクセスコードの名前を入力します。
  - b. アクセスコードを生成する方法を指定します。
    - すべての月の独自コード値を指定するには、[Upload access codes from the csv file] チェックボックスをオンにします。メッセージボックスのリンクをクリックすると、アクセスコードのテンプレートをダウンロードできます。テンプレートで必要なすべての月のすべてのコード値を入力した後、[Upload] ボタンを使用してテンプレートを CSV ファイルとしてアップロードできます。
    - すべての月のアクセスコードを自動的に生成するには、[Access Code Validity time period] バーを調整して、このアクセスコードが有効な期間を月単位で指定します。



(注)

[Access Code Validity time period] バーは [Upload access codes from the csv file] チェックボックスを選ばなかったときにのみ使用できます。[Upload access codes from the csv file] チェックボックスを選択した場合、有効期間は CSV ファイルに入力したコード値の数に基づいて判断されます。たとえば、CSV ファイルに3つのコード値を定義した場合、アクセスコードは3か月間有効です。CSV ファイルに指定されたコード値は、それぞれの月に順次対応していると見なされます。

- c. [Limit session by time]バーを調整して、アクセスコードを使用して顧客がインターネットにアクセスできる時間を指定します。この時間は単一セッション用です。
- d. [Start Date] ボタンをクリックして、アクセスコードが有効になる開始日を指定します。
- e. 顧客がこのアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに帯域幅を制限する場合、[Limit bandwidth] チェックボックスをオンにします。
- f. 表示される帯域幅バーを調整して、このアクセスコードを使用してインターネットにアクセスするときに、顧客に提供する必要がある最大帯域幅を指定します。
- g. [See More] リンクをクリックして、アップロードおよびダウンロードの制限を指定します。

ステップ 5 [Create]をクリックします。

## アクセスコードの表示

有効期間がまだ切れていないネットワーク(ロケーション)のすべてのアクセスコードを表示できます。

WiFi Engage のロケーションに定義されているアクセスコードを表示するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage ダッシュボードで [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザーのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

ステップ 2 表示された [Access Code] ページのドロップダウンリストから、アクセスコードを表示する Meraki ネットワークを選択します。

ステップ 3 ネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

選択した Meraki ネットワークのアクティブなアクセスコードおよび非アクティブなアクセスコードの合計数が表示されます。

さらに、ネットワークに対して定義されたアクセスコードの次のような詳細が表示されます。

- **Status:** アクセスコード名がアクティブであるかどうか。
- **Name:** アクセスコードの名前。
- **Code:** アクセスコードを表示する時のアクセスコードの名前のコード値。コードの値は毎週または毎月変更するように設定した場合、変更されます。
- **Type:** アクセスコードのタイプ。アクセスコードタイプは固定することも、毎週または毎月変更することもできます。
- **Validity:** アクセスコードが有効である期間。
- **Actions:** 編集、共有、削除など、アクセスコードに対して実行できる操作。

## アクセスコードの編集

アクセスコードを編集するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage で [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザーのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

ステップ 2 表示される [Access Code] ウィンドウで、アクセスコードを編集するネットワークを選択します。そのネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

ステップ 3 編集するアクセスコードの [Actions] 領域で、[Edit] ボタンをクリックします。

ステップ 4 必要な変更を行って、[Update] をクリックします。

## アクセスコードの共有

WiFi Engage により、顧客をアクセスコードを共有できます。

アクセスコードを共有するには、次の手順を実行します。

---

ステップ 1 WiFi Engage で [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザーのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザーの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

---

ステップ 2 表示される [Access Code] ウィンドウで、アクセスコードを共有するネットワークを選択します。そのネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

ステップ 3 共有するアクセスコードの [Actions] 領域で、[Share] ボタンをクリックします。

ステップ 4 表示される [Share Access Code] ウィンドウに、アクセスコードを共有する人の電子メール ID を入力し、[Send] をクリックします。

---

## アクセスコードの削除

アクセスコードを削除するには、次の手順を実行します。

---

ステップ 1 WiFi Engage で [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザーのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザーの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

---

ステップ 2 表示される [Access Code] ウィンドウで、アクセスコードを削除するネットワーク(ロケーション)を選択します。

そのネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

ステップ 3 削除するアクセスコードの [Actions] 領域で、[Delete] ボタンをクリックします。

ステップ 4 表示される [Delete] ウィンドウで、[Yes] をクリックし、削除を確認します。

---

## アクセスコードの非アクティブ化

アクセスコードを非アクティブ化するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage で [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャの場合のみ、WiFi Engage ダッシュボードで使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

ステップ 2 表示される [Access Code] ウィンドウで、アクセスコードを非アクティブ化するネットワークを選択します。

そのネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

ステップ 3 非アクティブ化するアクセスコードのステータス ボタンを切り替えます。

非アクティブ化すると、ステータス ボタンはグレーに変わります。

## アクセスコードの再アクティブ化

デフォルトでは、アクセスコードは作成されたときはアクティブモードになっています。これを非アクティブ化した後は、アクセスコードの有効期限内であれば、必要に応じてアクティブ化できます。

アクセスコードを再アクティブ化するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 WiFi Engage で [Access Code] をクリックします。



(注) [Access Code] オプションは、WiFi Engage 管理者またはアクセスコードマネージャのユーザのみ、WiFi Engage で使用できます。WiFi Engage ユーザを作成するときの詳細については、「[WiFi Engage へのユーザの招待](#)」セクション(12-1 ページ)を参照してください。

ステップ 2 表示される [Access Code] ウィンドウで、アクセスコードをアクティブ化するネットワーク(ロケーション)を選択します。

そのネットワークに対して定義されたアクセスコードが表示されます。

ステップ 3 アクティブ化するアクセスコードのステータス ボタンを切り替えます。

アクティブ化すると、ステータス ボタンは緑に変わります。

## アクセスコードを設定したキャプティブポータルインターネットのプロビジョニング

顧客がビジネス構内の SSID に接続すると、設定されているスプラッシュ URL の Web ページが表示されます。この Web ページにアクセスコードを入力するテキストフィールドがあります。顧客がロケーション用のアクセスコードを入力し、[Connect]をクリックすると、WiFi Engage により、ロケーションが関連付けられたエクスペリエンスゾーン用に設定されたキャプティブポータルが表示されます。



(注) 利用規約に同意するように設定されている場合、インターネットをプロビジョニングする前に利用規約が表示されます。

